

オイワナ放流によるコミュニティ集落を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県北津軽郡中泊町薄市 <small>きたつがるぐんなかどまりまち うすいち</small>		
協定面積 49.7 ha	田 (100%) 米	畑	草地 採草放牧地
交付金額 397 万円 (平成25年度)	個人配分 共同取組活動 (40%)	除草作業 泥上作業 イワナ放流	60% 15% 15% 10%
協定参加者 人・農地プランの作成状況	農業者 46人、薄市婦人会 (構成員6名) 集落全体で作成済		開始：平成14年度

2. 取組に至る経緯

本集落は、第1期対策から継続して活動が続けてきたところであるが、活動当初から関わってきたメンバーはほとんど変わっておらず、高齢化・後継者不足に悩む典型的な集落である。

しかし、本事業を継続することで、地区内の意思疎通が図られ、子供達も含めたコミュニティを形成しているものである。

3. 取組の内容

現在、年2回行う除草及び水路の泥上げ等の共同作業に取り組んでいる。また、地区内を流れる河川に、毎年、保育園の子供達と一緒にイワナの稚魚を放流しており、集落の恒例行事となっている。これらは、新聞、テレビ等のマスコミにも取り上げられ、地区住民にとっても大切な催しとなっている。



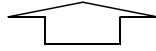
【イワナの稚魚を入れたバケツをもって
放流の準備をする園児達】



【各自草刈機を持参しての共同作業】

[集落の将来像]

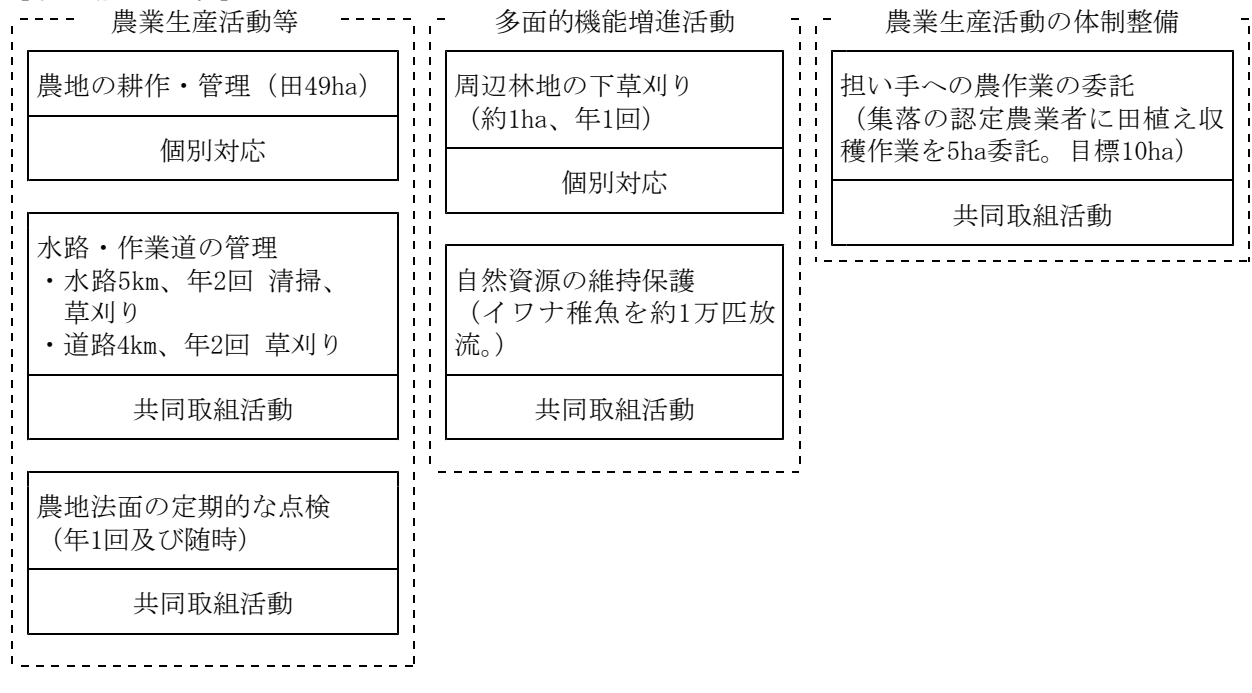
- 後継者不足、高齢化が進んでいる現状から、担い手又は生産集団による農作業の受委託等を進め、農地の保全を図るとともに、イワナの稚魚放流等により自然保護に対する意識の向上を図る。
そして、協定参加者を中心として、非農家を含めて協力を得ながら、「村らしさ」を失うことなく集落を維持していく。



[将来像を実現するための活動目標]

- 協定参加者を中心とした集落内の話し合いを通して、農作業の受委託化の推進と受入れ体制の整備に努める。基幹農道・水路の維持管理のための共同作業は継続して行い、多面的機能増進活動も積極的に実行していく。

[活 動 内 容]



4. 今後の課題等

一番の課題は、やはり高齢化による活動の低下が懸念される。役員世代交代をしたくても、受け手がいない状況である。今後の活動には、農業者以外の参加も視野に入れ、集落全体として対処していくことが必要である。

[第2期対策の主な成果]

- イワナ放流作業は、地区全体で取り組んでおり、中山間地域直接支払のPRにも一役買っている。保育園との連携により園児の保護者も参加することで、農家と農家以外の住民との交流の場としても有効であり、地域の活性化対策としての効果も見られる。